

## 平成28年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	伊那北高校	課程 (全)・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通)
-----	-------	---------------------

ホームページ掲載日	平成28年12月6日(火)						
実施年月日(曜)	平成28年11月17日(木)						
授業時間(時限)	10時10分～11時15分(2時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	1年・地歴(世界史B)「古代オリエント世界」						
授業者名	松澤 保隆						
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 初任研・10年研・教育課程研究委員会・ 小中高算数・数学研究会・その他( ) (○をつける)						
授業公開対象者	県内公立高校教員、県教委指導主事・専門主事						
授業参観者数	校内		校外		その他	合計	
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		(専門主事)
	8人	人	人	人	人		1人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	県内公立高校、県教育委員会教学指導課、総合教育センターへ案内通知を送付						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	時 間：15時45分～16時25分 参加者：校内教職員8名 主な感想・意見 ・落ち着いた雰囲気での授業であり、授業者の説明・発問も適切であった。 ・複雑なメソポタミアの民族の歴史を、図表に掲載された地図を用いて説明したことで、理解を深めることにつながった。 ・ペアワークやグループワークなどを取り入れて、より深い学びができるような工夫がほしい。						
成果と課題	世界史は初めて担当する科目でもあり、今回は講義中心の授業であったが、探究的な学びに導くアクティブラーニングの実践を研究していく必要がある。						